
クロ・リュセ城
レオナルド・ダ・ヴィンチパーク
レオナルド・ダ・ヴィンチの住まい

フランソワ一世に招かれ、このクロ・リュセ城にてレオナルド・ダ・ヴィンチは生涯最期の三年間を過ごし、発明品の完成に力を注ぎました。多作でアイデア豊かな彼はエンジニア、建築家、演出家として活動し、宮廷の饗宴を計画しました。王城から300メートル離れたこの屋敷で、ロモランタンに建設が予定されていたフランソワ一世のための理想の城の設計図を作成し、シャンボール城の二重螺旋階段を描きました。今日、クロ・リュセ城はこのイタリアの巨匠の世界に触れることのできる、カルチャーパークとなりました。



レオナルド・ダ・ヴィンチの日常生活と奇抜な40の発明品

2世紀前からサン・ブリス家の所有地であるクロ・リュセ城では、レオナルド・ダ・ヴィンチの発明の全貌が展示されています。修復されたダ・ヴィンチの寝室とマルグリット・ド・ナヴァルの寝室、厨房、審議室、彼の弟子がフレスコ画を描いた礼拝堂、そして軍事技術、都市計画、機械工学をテーマにした発明品40点を御覧になることができます。空を飛ぶ機械や、水力学を応用した発明品も展示されています。レオナルド・ダ・ヴィンチの発明を分かり易く説明した3Dアニメーション6話が新しく加わりました。

レオナルド・ダ・ヴィンチパーク：景観コースから レオナルド・ダ・ヴィンチの足跡をたどる

パークの順路をたどることで、レオナルド・ダ・ヴィンチのインスピレーションの源について学ぶことができます。見学者が動かすことのできる実物大のマシーン20台とレオナルド・ダ・ヴィンチの絵画の細部を再現した40枚のスクリーンが、見学者をダ・ヴィンチのインスピレーションの世界へと導きます。



“レオナルドの庭園”：自然の声に耳を傾ける

クロ・リュセ城の自然的景観の中に初めて、ダ・ヴィンチによる植物のデッサン、地学や水力学、風景の研究のありさまがよみがえりました。ダ・ヴィンチが設計した二重橋は森林公園の中にドゥヴォワール職人ギルドにより実現され、訪れる人々は当時ダ・ヴィンチがそうしたように、自然の中を散策し、植物、滝の眺めに心を打たれることでしょう。

新しく加われました：修復されたレオナルド・ダ・ヴィンチの寝室とマルグリット・ド・ナヴァルの寝室

細部にこだわり、20の技能職を動員し、7ヶ月かけて歴史のある2部屋とルネッサンス期の巡回路が修復されました。こうして、クロ・リュセ城の2階の修復工事は2011年4月15日に終了しました。歴史的記念物主任建築家、アルノー・ドゥ・サンジュアンの指導のもとで、修復を手がけた職人たちはレオナルド・ダ・ヴィンチが暮らしたこの屋敷の歴史の1ページを甦らせました。

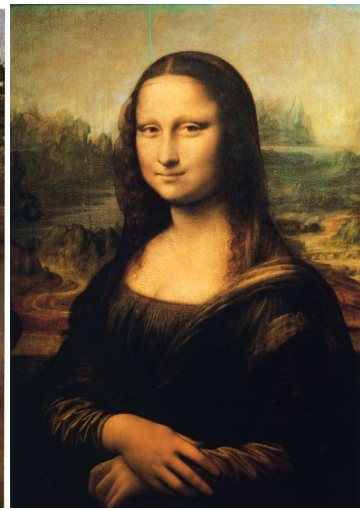


歴史と建築の研究の成果であるこの修復工事は、当城の資本金により実現し、540歳の“貴婦人”とも言えるこの美しい城に若さをもたらしました。煉瓦職人、石工、装飾家具士、大工職人、陶芸家、ステンドグラス職人、金具職人、舞台設計家、オークション運営会社、骨董品商が力を合わせ、レオナルド・ダ・ヴィンチの時代とルネッサンス期の栄光に輝いたこの城の姿を再現するに至りました。

クロ・リュセで開花したモナ・リザの微笑み

1516年の秋、64歳だったレオナルド・ダ・ヴィンチはフランス王の招待を受け、ロバの背に乗りアルプス山脈を越えました。その旅にはフランチェスコ・メルツィに代表される弟子たちと、忠実な召使であったミラノ出身のバッティスタ・ド・ヴィラニスが同伴しました。ダ・ヴィンチは、気に入っていた3枚の絵と手帳、クロッキー帳の全てを革の肩掛けかばんに入れてローマから運びました。これらは、彼の多岐に渡る研究と作品を良く表している貴重な資料です。クロ・リュセを訪れたアラゴン枢機卿の秘書が、“ジュリアーノ・デ・メディチの委嘱になる、実物から描かれたあるフィレンツェの貴婦人の絵画があった”と記しています。1503年から1514年にかけて描かれたこの絵画は、レオナルド・ダ・ヴィンチの有名な sfumato（ぼかし画法）の技術を表しています。

他の二点の絵画である、聖アンナと聖母子、そして洗礼者ヨハネを、ダ・ヴィンチはクロ・リュセ城にて完成させました。

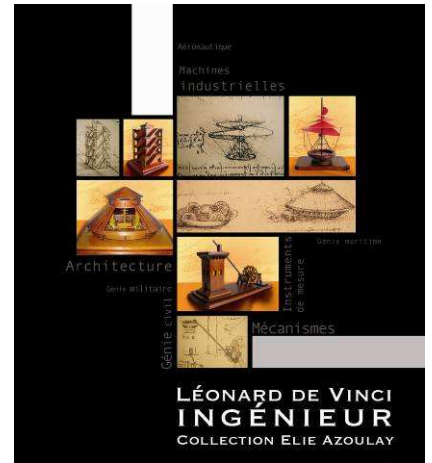


カルチャーイベント

展覧会

“エンジニアとしてのレオナルド・ダ・ヴィンチ”

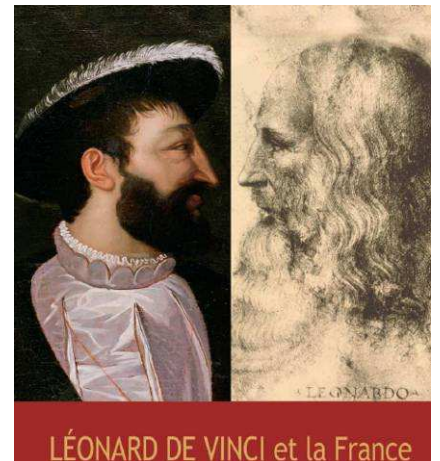
ダ・ヴィンチは彼自身の読書、シエナのエンジニアに関する研究、中世と古代に遡る科学と技術の知識から多くのインスピレーションを得て、情報を総括し、その発明の才から新しいものを作り出してゆきました。レオナルド・ダ・ヴィンチのデッサンを基に作成した約50の模型が、航空力学、工業生産マシン、航海学、測定器、機械装置、土木、建築、軍事の多分野に渡るこの巨匠の才能を良く表しています。模型はブナ材の一枚板から作られ、一部の部品は、クマシデ材を旋盤加工したものを使用しています。



展覧会《レオナルド・ダ・ヴィンチとフランス》

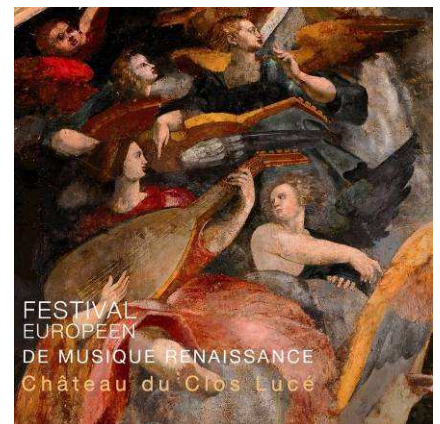
フランスの三国王とレオナルド・ダ・ヴィンチの10年に渡る交友関係の精華

当城の宝物当城にて生涯最後の三年間を暮らし、数多くのプロジェクトに取り掛かった高名なるレオナルド・ダ・ヴィンチを称え、アンボワーズ市に位置するクロ・リュセ城にてその貴重な宝物を展示いたします。展覧会では、ダ・ヴィンチのミラノ滞在期（1507-1513年）とフランス滞在期（1516-1519年）の研究の成果を展示いたします。シャルル8世、ルイ12世、フランソワ1世のフランス三国王、そしてこの交友関係に貢献したルイーズ・ド・サヴォワとダ・ヴィンチの密接な繋がりは、ロワール渓谷におけるルネッサンス文化導入の一翼を担いました。



ルネッサンス音楽フェスティバル

イタリア、イギリス、フランス、フランドル地方に広まったルネッサンス音楽は、ヨーロッパの文化に深く根をおろしていると言えるでしょう。残念なことに、ルネッサンス音楽はバロック音楽の陰に隠れてしまい、あまり知られていません。ルネッサンス音楽の演奏には、ビオラ・ダ・ガンバ、リュート、ボンバルド、クロムホルン、コルネットサクバットなど、今日聞かれることの稀な楽器が多く使われています。クロ・リュセ城では、7年前からヨーロッパ規模のルネッサンス音楽フェスティバルが毎年3日間開催されています。



それは、この地に暮らしたレオナルド・ダ・ヴィンチをはじめとする、音楽家と演奏家に対する賛辞でもあります。

クロ・リュセ城ではレオナルド・ダ・ヴィンチの世界をバーチャルに表現することに成功しました。

新しいアプリケーション《Tout sur Léonard de Vinci au Château du Clos Lucé》（“クロ・リュセ城でのレオナルド・ダ・ヴィンチの全て”）を使うことで、ダ・ヴィンチの世界がより身近になりました。

このiPhoneとiPad用のアプリはAppStoreにて無料で提供しております。フランス語版と英語版をご用意しております。合成された画像や360°パノラマ、写真、3Dアニメが盛り込まれ、これまでになく楽しくインタラクティブに城、パーク、庭園を訪ねることが

できます。

ユーザーは、ルネッサンスの巨匠の創作過程に触れ、画家、植物学者、建築家、土木・軍事エンジニア、解剖学者と多才であった彼の秘密に迫ってゆきます。



プレス情報担当

カトリーヌ・シモン=マリオン

マリー=カロリーヌ・ショードリュック

会長代表

広報責任者

電話番号 0033 (0)2 47 57 55 78

closluce.com@vinci-closluce.com

www.vinci-closluce.com